

# 平成21年度事業報告

## 1. 総 会 (21.6.15 於高松市)

### ◆ 第47回定時総会

- ① 平成20年度事業報告ならびに決算(案)
- ② 平成21年度事業計画ならびに予算(案)
- ③ 役員を選任

の3議案について審議し、①、②については原案どおり承認され、③については任期満了に伴い理事・監事が選任されるとともに、新会長に常盤会長が選任された。

### ◆ 特別講演

慶應義塾大学 経済学部教授 竹森俊平 氏から「経済危機はどうなる」と題して講演をいただいた。

## 2. 理 事 会

### ◆ 第1回 (21.4.8 於高松市)

第47回定時総会付議事項について審議し、了承された。

### ◆ 第2回 (21.6.15 於高松市)

任期満了に伴い、副会長・常任理事の選任、専務理事・常務理事、委員長・委員長代行などの委嘱について審議し、了承された。

## 3. 常任理事会

### ◆ 第1回 (21.10.29 於高松市)

民主党の主要政策と四経連の考え方、少子化問題への取り組みなどについて審議した。

### ◆ 第2回 (22.3.16 於高松市)

平成22年度事業計画(案)について審議した。

## 4. 委員会

### (1) 国際化委員会

◆ 講演・グループ相談会（21.9.24 於高知市）

日本貿易振興機構 農林水産調査課 森 路未央 氏から「アジア(中国)における“四国の食”市場の現状と対中食品輸出のポイント」について講演をいただいた後、講師を囲んでグループ相談会を開催した。

### (2) 産業委員会

◆ 講演会（21.4.7 於高知市）

関西大学 社会学部教授 大西正曹 氏から「元気な中小企業の秘訣を読み解く ～モノからコトへの誘い～」について講演をいただいた。

### (3) 観光委員会

◆ 四国ツーリズム創造機構との意見交換会（21.9.3 於高松市）

四国ツーリズム創造機構 事業推進本部長 平尾政彦 氏から同機構の運営方針や事業内容などを説明いただいた後、四国の観光振興のあり方等について意見交換を行った。

### (4) 情報化委員会

◆ 講演会（21.7.31 於松山市）

内閣官房 情報通信技術(IT)担当室 内閣参事官 野口 聡 氏から『「i-japan 戦略 2015」の概要 ～国民主役の「デジタル安心・活力社会」の実現を目指して～』について講演をいただいた。

### (5) 資源・環境委員会

◆ 講演会（21.10.26 於高知市）

アドバンスト マテリアル ジャパン(株)社長 中村繁夫 氏から「レアメタルを巡る最近の動向と産業界への影響」について講演をいただいた。

## (6) 国土政策委員会

### ◆ 四国の交通インフラに関するフォーラム（22. 2. 12 於松山市）

高知県土木部長 石井一生 氏から「四国8の字ネットワーク整備の現状と課題」について、また、四国旅客鉄道(株)常務取締役 半井真司 氏から「高速道路料金施策に伴う四国の鉄道への影響」について、それぞれ問題提起をいただいた後、政策研究大学院大学 教授 森地 茂 氏から「次世代に引き継ぐ交通インフラを考える」について講演をいただいた。

## (7) 四国西南開発特別委員会

### ◆ 講演会（21. 11. 12 於四万十市）

(株)ツーリズム・マーケティング研究所 取締役マーケティング事業部長 中根 裕 氏から「観光を巡る新たな動きと四国西南地域の可能性」について、また、(株)四万十ドラマ 社長 畦地履正 氏から「四万十ドラマの目指すもの～地域資源を活かした“滞流型”地域づくり～」について、それぞれ講演をいただいた。

### ◆ 視察（21. 11. 13 於柏島 高知県大月町）

黒潮実感センターが実施するエコツアーを体験するとともに、地域活性化の取り組み状況について説明をいただいた。

## (8) 社会構造問題特別委員会

### ◆ 講演会（21. 5. 26 於高松市）

内閣府規制改革会議委員 米田雅子 氏（慶應義塾大学理工学部教授）から「地域活性化と規制改革」について講演をいただいた。

## (9) 地方分権特別委員会

### ◆ 関西経済連合会との道州制等に関する意見交換会（21. 7. 29 於高松市）

四経連地方分権特別委員会の山下委員長、鴻池委員長代行と、関経連地方分権委員会の村上委員長はじめ幹部が、道州制や地方分権等について意見交換を行った。

### ◆ 道州制講演会（22. 3. 17 於徳島市）

立命館大学 法学部教授 村上 弘 氏から「道州制と四国ーメリット、デメリット、区割り」について講演をいただいた。

## 5. 欧州経済視察団の派遣（21.10.11～20 ドイツ、チェコ）

常盤会長を団長として、下記について調査するため、ドイツとチェコへ経済視察団（総勢 22 名）を派遣した。

- ① 地方分権体制による自立した地域社会の構築
- ② 地域固有の歴史文化を活かした魅力ある地域づくり

### ◆ 視察報告会（22.2.2 於高松市）

視察結果については、「欧州経済視察報告書」として取りまとめるとともに、視察報告会を開催した。

## 6. 交流人口拡大に関する取り組み

### (1) 歴史・文化道推進協議会（四経連はじめ四国の官民 14 団体で構成）

#### ◆ 総会（21.5.20 於高松市）

平成 20 年度事業報告・決算ならびに平成 21 年度事業計画・予算等について審議し、了承された。

#### ◆ 四国語り部交流会（21.10.15 於今治市）

四国における語り部活動の一層の充実や、語り部との連携強化を図るため、観光ボランティアガイド団体の代表者等と意見交換を行った。

#### ◆ 四国ゆかりのテレビドラマと連携した PR パンフレットの作成（21.10 月）

テレビドラマ「ウェルかめ」「坂の上の雲」「龍馬伝」の情報を盛り込んだ歴史文化道 PR パンフレットを作成し、道の駅や高速道路サービスエリア等で配布した。

### (2) 新四国創造フォーラム（22.2.17 於高知市）

「テレビドラマ放映を地域活性化にどう活かすか」をテーマに、フォーラムを開催した。

『土佐・龍馬であい博』総合プロデューサー 西川りゅうじん 氏から「地域“いきいき化”戦略 ～ドラマを持続的観光振興の起爆剤に！」と題して基調講演をいただいた後、パネルディスカッションを行った。

### (3) 四国八十八ヶ所みち案内連絡会

(四経連、四国地方整備局、四国4県、観光関係機関等で構成)

四国八十八ヶ所を訪れる巡拝客等への望ましい「みち案内」の環境づくりを目指し、道路管理者等とともに案内標識のあり方、整備ルート、設置手法等の検討を行った。

### (4) 地域スポーツ支援

会員企業の協力を得て、四国・九州アイランドリーグの公式戦観戦チケットの販売支援等を行った。

## 7. 産業活性化等に関する説明会

### (1) CO<sub>2</sub>削減中期目標に関する説明会 (21.4.15 於高松市)

日本経団連の環境安全委員会委員 影山嘉宏氏と渡邊広志氏から、「ポスト京都議定書における我が国の中期目標に関する考え方」について説明をいただいた。

### (2) 四国の産業活性化に関する説明会 (21.12.17 於高松市)

(財)徳島経済研究所専務理事 田村耕一氏から「LEDバレイ構想の進捗状況」についての説明、また、四国経済産業局長 徳増有治氏から「四国経済の持続的発展と社会的課題への挑戦」についての説明ならびに意見交換を行った。

## 8. 4県連携・四国一体となった地域づくり

### (1) 四国圏広域地方計画協議会 (21.6.8 於高松市)

(国の出先機関の長、4県知事、四経連会長等で構成)

今後10年間の四国の発展方策を示す四国圏広域地方計画の取りまとめを行った。同計画は、8月4日に国土交通大臣決定となった。

### (2) 四国総合ホームページ『ウェルカム！四国』

四国各地の産業・観光関連情報を、県の枠を超えて一元的に集積・発信しており、その内容の充実に努めた。 [21年度のアクセス数：約143万件]

## 9. 社会基盤整備

### (1) 明日の地域づくりを考える四国会議（四経連はじめ四国の4経済団体で構成）

#### ◆ 懇談会・提言（21.12.3 於東京）

常盤会長はじめ四国の4経済団体の代表が出席し、社会基盤整備と公共交通、地方分権・道州制、子育て支援、地球温暖化対策を内容とする提言「生き生きと自立した四国の創造に向けて」を決議した。

提言内容をもとに、民主党ならびに自民党の四国選出国會議員と、それぞれ懇談を行った。

### (2) 四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会

（四経連、4県はじめ四国の自治体、道路利用者などで構成）

#### ◆ 車座談議（22.2.13 於高知市）

四国4県知事をパネリストとしたシンポジウムを開催し、四国8の字ネットワークの早期完成などを内容とする決議文「四国8の字・道中八策」を採択し、後日、4県代表者が民主党等に要望活動を行った。

### (3) 四国フリーゲージトレイン導入期成会

（四経連、四国商工会議所連合会、四国4県で構成）

#### ◆ 総 会

平成20年度事業報告・決算報告ならびに平成21年度事業計画・予算等について、書面により審議し、平成21年6月22日付で了承された。

#### ◆ 要 望（21.6.9 於東京）

フリーゲージトレインの四国への早期導入について、国土交通省に要望した。

### (4) 太平洋新国土軸構想推進協議会

（関係16府県と四経連など8経済団体で構成）

#### ◆ 総 会

平成20年度事業報告・決算報告ならびに平成21年度事業計画・予算等について、書面により審議し、平成21年6月18日付で了承された。

#### ◆ 要 望（21.6.25 於東京）

太平洋新国土軸構想の実現に向け、国土交通省に要望した。

(5) **紀淡海峡交流会議**（関係 6 府県と四経連など 9 経済団体で構成）

◆ 総 会

平成 20 年度事業報告・決算報告ならびに平成 21 年度事業計画・予算等について、書面により審議し、平成 21 年 10 月 20 日付で了承された。

(6) **豊予海峡ルート推進協議会**（関係 7 県と四経連など 10 経済団体で構成）

◆ 総 会

平成 20 年度事業報告・決算報告ならびに平成 21 年度事業計画・予算等について、書面により審議し、平成 21 年 6 月 5 日付で了承された。

◆ 要 望（21.7.15 於東京）

豊予海峡ルートの実現に向け、国土交通省に要望した。

(7) **中四国セントラルルート地域連携軸推進協議会**

（四経連など中四国の 44 経済団体で構成）

◆ 総 会（21.7.6 於広島市）

平成 20 年度事業報告・決算報告ならびに平成 21 年度事業計画・予算等について審議し、了承された。

◆ 要 望（21.11.19 於東京）

四国横断自動車道など中四国地方の幹線道路網の早期整備等について、地元選出国會議員に要望した。

## 10. 次代を担う人材の育成

(1) **科学体験イベントへの参画**

（21.8.8～9 於徳島市，21.11.14～15 於高松市，21.11.29 於阿南市）

青少年が科学の楽しさに触れるイベントに会員企業が出展し、協力を行った。

(2) **キャンパスベンチャーグランプリ四国**

（審査会 21.12.11，表彰式 22.2.5 於高松市）

学生から起業アイデアを募る「第 7 回キャンパスベンチャーグランプリ四国」（同実行委員会主催、四経連、日刊工業新聞社など共催）を開催した。

四国内の大学や工業高等専門学校から 50 件の応募があり、四国経済連合会会長賞などを選考、表彰した。

なお、四国経済連合会会長賞に選ばれた高知大学4年の蜂谷 潤さん（「海洋深層水を徹底利用した『ヤイロアワビ』栽培事業」）はその後、全国大会において最高賞である文部科学大臣賞を受賞した。

## 11. 他団体との政策懇談・交流活動

### (1) 日本経済団体連合会との四国地域経済懇談会（22.3.10 於松山市）

日本経団連の御手洗会長はじめ幹部を迎えて、「新たな発展へ向け、四国からの確かな布石を」を基本テーマに、内外の重要課題について意見交換を行った。（参加者 約150名）

### (2) 西日本経済協議会（中部以西の6経済連合会で構成）

#### ◆ 第51回総会（21.10.7 於福岡市）

「経済社会の変革と活力ある地域の創造 ―危機を飛躍の好機に― ～西日本からの提言～」を統一テーマに開催した。NHK会長 福地茂雄氏（元アサヒビール会長）から「高度情報化時代に生きる」と題して講演をいただくとともに、6経済連合会の代表による意見発表を行った後、総会決議文を採択した。

#### ◆ 要 望（21.10.23 於東京）

第51回総会決議に基づき、政府等に要望した。

### (3) 中四国サミット（21.5.18 於東京）

中四国9県知事と中国・四国の各経済連合会会長が出席し、①本州四国連絡高速道路の料金引き下げを契機とした連携方策と恒久的な料金引き下げについて、②高速道路ネットワーク整備の推進等と道路整備財源の確保等について、意見交換を行った。

### (4) 四国出身経営者の方々との情報交流会（21.12.2 於東京）

全国で活躍されている四国出身の経営者の方々17名と当会役員13名が意見交換を行い、四国の活性化方向について示唆やアドバイスを得た。

## 12. 四国新年交流会、理事懇話会、四経連懇話会

### (1) 四国新年交流会 (22. 1. 13 於高松市)

四国生産性本部との共催により、四国の産官学の代表が出席し、交流と親睦を図った。  
(参加者 約 400 名)

### (2) 理事懇話会、四経連懇話会

〔 下記のうち、※については四経連懇話会(高松市以外の開催)として、  
講演とともに、四経連役員と会員との意見交換を行った。 〕

#### ◆ 第 191 回(21. 4. 8 於高松市)

「四国が日本を変える? ～四国から日本を元気に～」

四国経済産業局長

徳増 有治 氏

#### ◆ 第 192 回(21. 5. 11 於高松市)

「サッカーからの贈り物」

カマタマーレ讃岐 監督

羽中田 昌 氏

#### ◆ 第 193 回(21. 6. 5 於高松市)

「グローバル化と人口減少時代の農政改革」

(独)経済産業研究所 上席研究員

山下 一仁 氏

#### ◆ 第 194 回(21. 7. 7 於高松市)

「グローバル経済危機下のアジア ～危機克服への課題～」

獨協大学 経済学部教授

高安 健一 氏

#### ◆ 第 195 回(21. 9. 14 於松山市)※

「テレビドラマと地域活性化」

NHK大阪放送局 放送センター(番組制作)担当部長

安原 裕人 氏

#### ◆ 第 196 回(21. 10. 6 於高松市)

「四国における防災対策について」

四国地方整備局長

足立 敏之 氏

#### ◆ 第 197 回(21. 11. 16 於徳島市)※

「少子化問題の解決策」

上智大学 総合人間科学部教授

増田 雅暢 氏

#### ◆ 第 198 回(21. 12. 10 於高松市)

「経済動向と金融の対応等について」

四国財務局長

河野 邦明 氏

- ◆ 第 199 回(22. 2. 4 於高知市)※  
「四国遍路みちの改善へ向けての提言」～スペイン巡礼路と比較して～  
(社)日本技術士会 顧問 佐藤 清 氏
- ◆ 第 200 回(22. 3. 3 於高松市)  
「2010 年の金融経済展望」  
日本銀行 高松支店長 中村 武 氏

### 13. 調査活動

#### ◆ 四国地域の景気動向調査

会員企業等を対象に、四半期毎に、経営者の景況感や生産活動の状況などについてのアンケート調査、ならびに消費・マネーフロー・物流動向のヒアリング調査を実施し、「四経連景気動向調査」結果として公表した。

(21 年 6 月、9 月、12 月、22 年 3 月)

#### ◆ 高速道路・本四連絡橋通行料金引下げ後の利用者アンケート調査

通行料金引下げが、高速道路や本四連絡橋の利用に及ぼす影響や、利用者の交流範囲の状況等について、インターネットを活用したアンケート調査を実施し、結果を公表した。

[調査期間 21 年 9 月 18 日～9 月 30 日、回答数 4,749 名 (プレス発表 21. 11. 4)]

### 14. 受託事業

#### ◆ 内閣府「景気ウォッチャー調査」など地域経済の動向調査

(21 年 4 月～22 年 3 月)

#### ◆ 国土交通省 広域地方計画先導事業「アジアにおける『四国の食』ブランド化に向けた先導事業」

(21 年 7 月～22 年 3 月)

(参考) 会 員 数

(平成 22 年 3 月末現在)

	徳 島	香 川	愛 媛	高 知	四国外	計
企 業 数	2 2	1 5 7	5 2	2 0	9	2 6 0
団 体 数	9	1 4	1 4	7	1	4 5
計	3 1	1 7 1	6 6	2 7	1 0	3 0 5

以 上

## 四国経済連合会 平成21年度決算

### (1) 平成21年度収入・支出決算書

自 平成21年4月1日

至 平成22年3月31日

#### 収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	増 減 (B) - (A)
会 費 収 入	72,360,000	71,680,000	△680,000
業 務 受 託 収 入	4,420,000	14,307,038	9,887,038
雑 収 入	155,000	122,843	△32,157
小 計	76,935,000	86,109,881	9,174,881
前 年 度 繰 越 金	12,471,122	12,471,122	0
合 計	89,406,122	98,581,003	9,174,881

#### 支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	増 減 (B) - (A)
人 件 費	21,051,000	21,047,136	△3,864
借 室 料 等	6,617,000	6,537,453	△79,547
事 務 費	7,843,000	8,615,461	772,461
委 員 会 等 活 動 費	20,360,000	20,016,058	△343,942
総会・理事会・委員会等	10,970,000	10,478,877	△491,123
交流・懇談・セミナー等	9,390,000	9,537,181	147,181
調 査 費	9,587,000	15,450,955	5,863,955
地 域 振 興 費	3,000,000	3,000,000	0
広 報 出 版 費	11,733,000	11,345,599	△387,401
小 計 (事業活動費)	80,191,000	86,012,662	5,821,662
次 年 度 繰 越 金	9,215,122	12,568,341	3,353,219
合 計	89,406,122	98,581,003	9,174,881